



## TBL に関する講演会を開催しました

3月2日に、三重大学中井桂司先生をお招きし、Team-based Learning に関する講演会「学生のやる気を引き出すには 三重大学における TBL (Team-based Learning) の取り組み」を開催しました。

TBL は、PBL (Problem-based Learning) と同様に少グループ討論を軸とした自己主導型学習でありながら、領域の専門家による学習の課題や方法についての方向付けがなされること、またグループ討論に関する専門家によるフィードバックがその場でなされることによって、内容に関してより効果的かつ意欲的な学習が可能となることが期待できます。小グループにチューターを配さず、教員は全体討論のリソースパーソンとして参加します。グループ毎の小テストが単位認定にカウントされることから、グループワークには責任が伴います。

平成22年度3年次学生から開始される新カリキュラムでは、Phase を構成する13ユニットのうち、6ユニットでTBLを採用する予定です。PBLによってグループ討論を使った自己主導型学習や臨床推論の基本を学んだ後は、TBLによって幅広い知識の効率的な学習や、問題解決のための知識の応用を反復訓練する構成です。

現在、そのための具体的なカリキュラム作成を Phase 作業部会がすすめています。その代表者3名が、TBLの先進的実践校であるシンガポール-DUKE 大学を視察しました。これらの活動を通して、これまでPBLを通して築き上げてきた佐賀大学医学部の教育環境を、さらに発展させていきたいと思っております。(Phase チェア・小田康友)

TBL について興味のある方は以下のHPが有用です。

- ✚ Baylor College of Medicine  
<http://www.bcm.edu/fac-ed/?PMID=6586>
- ✚ University of Oklahoma  
[http://teambasedlearning.apsc.ubc.ca/?page\\_id=7](http://teambasedlearning.apsc.ubc.ca/?page_id=7)

## 共用試験 OSCE と Advanced OSCE について

平成21年2月14日に医学科4年生に対して共用試験OSCEが、3月6日に医学科5年生に対しAdvanced OSCEが実施されました。

OSCEとはObjective Structured Clinical Examinationの頭文字をとったもので、日本語では客観的臨床能力試験と呼ばれます。4年生に対するOSCEは全国80の医学系大学で行われる共用試験の一環として行われ、医学生が臨床実習を開始する前に必要な技能・態度を身につけているかを評価するために行われるものです。従来の医学教育や評

価は知識に関するものが主体でしたが、実際に患者さんと接するにあたっては、技能や態度の領域が許容されるレベルに到達しているかが非常に重要となります。佐賀大学医学部では共用試験OSCEについては一定の基準を満たさない場合は再試験となり、それでも合格できない場合は病棟実習に進む(=5年生に進級する)ことができないことになっています。本年度は医療面接・頭頸部・胸部・腹部・神経・救急の6ステーションによる試験を実施。うち、医療面接・神経・救急の3つのステーションで再試験が行われ、幸い全受験生が合格しました。

一方、Advanced OSCEは当院では1年間の臨床実習を経験した5年生に行われるもので、医療面接 身体診察 医療記録記載からなるSPステーションと、シミュレーターや画像、CD、検査所見などを用いるSLステーションの2つから構成されます。共用試験OSCEが標準的な診察や手技の技能が身につけているのかをみているのに対し、Advanced OSCEはそれらの技能や知識を用いて診断に至るまでのより総合的な臨床能力をみています。

佐賀大学医学部においてはAdvanced OSCEの可否は卒業試験受験資格を判断する基準の一つとしています。

(吉田和代)

## 飲酒問題について

昨年からの学生による飲酒に関わる問題が起こっています。その反省から、今年の新入生歓迎行事では学生による厳しい取り組みが行なわれるようです。部活動誘いのための過剰な飲食接待や飲酒の強要が今年は影を潜めるはずですが、講義や健康面への影響を考えるのは当然です。上級生にとっては経済的にも負担が減るでしょう。

新歓参加団体は、学部長宛の誓約書を提出した上で参加します。誓約書には、問題を起こした場合には活動停止や廃部等の厳しい措置がとられることに同意する旨記載されます。当然のことながら、未成年である新入生は禁酒です。また、昨年発生したようなインフルエンザなどの感染症が蔓延した場合、終息するまで行事は自粛します。アルコールハラスメントに当たる行為に十分注意し、これらのことは歓迎行事期間が終わっても継続されます。

他大学では、大学による一方的な厳しい措置が決められているところもありますが、本学部では学生の自主性も尊重することが重要かと思われまます。(市場正良)

### 教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、  
江村正、藤田君支、田崎法人  
ご意見をお待ちしています([oday@cc.saga-u.ac.jp](mailto:oday@cc.saga-u.ac.jp))

